

**令和5年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験**  
**第2次試験 面接試験・実技試験**  
**中学校・高等学校・中等教育学校教員 美術 実施要領**

1 日時

- (1) 面接試験：令和4年8月6日（土）10時30分 ～ 17時15分
- (2) 実技試験：令和4年8月7日（日）9時00分 ～ 17時15分

2 会場 さいたま市立大谷場中学校・さいたま市立大谷場東小学校

3 内容

- (1) 個人面接、教科等の専門性に係る質問
- (2) 実技

4 日程

- (1) 面接試験  
個人面接、教科等の専門性に係る質問 10時30分 ～ 17時15分
- (2) 実技試験  
諸注意・概要説明 8時25分 ～ 9時00分  
実技 9時00分 ～ 17時15分

5 個人面接、教科等の専門性に係る質問の内容

- (1) 教科の知識に関すること
- (2) 教科の実践力に関すること
- (3) 指導と評価に関すること

6 実技の内容

課題に基づき、立体作品の制作及び水性の画材による平面作品の制作をする。

7 実施方法

(1) 面接試験

時間	試験内容	場所
25分	個人面接、教科等の専門性に係る質問	試験室

(2) 実技試験

時間	試験内容	場所
35分	諸注意・概要説明	控室
165分	実技	試験室

令和5年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験  
第2次試験 中学校・高等学校・中等教育学校教員 美術  
個人面接、教科等の専門性に係る質問例

1 教職全般に係る質問

(1) 人間性・社会性に関すること

- ア 教職を志望した理由は何ですか。
- イ 教職に就くことを目指して、どのような努力をしてきましたか。
- ウ 教員に求められている力（能力）は何ですか。

(2) 教員としての資質・能力に関すること

- ア 通常学級において、特別な配慮が必要な児童生徒が増えています。このことについて、あなたは、どのように考えますか。
- イ 児童生徒や保護者と信頼関係を築くために、大切なことは何だと考えますか。
- ウ 「いじめ」を未然に防ぐために、日頃からどのような指導を行いますか。

2 教科等の専門性に係る質問

(1) 教科の知識に関すること

- ア 「補色」について、説明してください。
- イ 「浮世絵」の制作工程について、具体的に説明してください。

(2) 教科の実践力に関すること

- ア 空想画を描きたい生徒にアドバイスするつもりで、「デペイズマン」というシュルレアリズムの表現技法について説明してください。
- イ 制作するポスターに迫力や臨場感を出したい生徒に、漫画の特有の表現技法を紹介するとします。どのような方法が考えられるか、具体的に3つ答えてください。

(3) 指導と評価に関すること

- ア 個に応じた指導を充実させるためには、どのような手立てが有効だと考えますか。具体的な指導場面を想起して、述べてください。
- イ 美術科における言語活動の充実を図るために、どのような手立てが考えられますか。具体的に答えてください。
- ウ 評価の妥当性を保つための具体的な方法を、授業中と授業外に分けて、それぞれ説明してください。

(受験番号 )

## 【課 題】

### 作品の制作

実在する「魚」を1つ選び、立体作品として自由に表現しなさい。

また、選んだ「魚」に、各自が考えるモチーフを2種類以上加え、平面作品として自由に表現しなさい。

なお、以下の条件を守ること。

#### 条件

##### <立体作品>

- 1 アイデアスケッチは配布された草案用紙を使用すること。
- 2 制作は1点とすること。
- 3 配布された粘土を2/3以上使用して制作し、着彩はしないこと。
- 4 配付された針金を使用してもよい。
- 5 指定の板の上に置き、板も含めて作品とすること。
- 6 鑑賞時の「前」と「後」を指定し、板に小さく書き込むこと。
- 7 配布された立体作品票を記入し、記入部分が見やすいように、板に添付すること。

##### <平面作品>

- 1 配布されたイラストボードを使用して制作し、着彩をすること。
- 2 立体に使用した粘土は使用しないこと
- 3 配布された平面作品票を記入し、記入部分が見やすいように、イラストボードに添付すること。